

山岳部における利用の検討状況について

環境省九州地方環境事務所

1. 平成 28 年度開催結果概要

昨年度、2 回の検討会を開催し、屋久島山岳部の保護と利用の歴史や課題について認識共有するとともに、今後議論すべき論点案などを整理した。

(1) 開催日時

【第 1 回】 平成 28 年 12 月 25 日（日）10:00-12:00

於 離島開発総合センター 2 階会議室

【第 2 回】 平成 29 年 2 月 4 日（土）13:30-16:00

於 屋久島環境文化村センターレクチャー室

(2) 参加者 五十音順。敬称略

【検討委員】 柴崎茂光（国立歴史民俗博物館 准教授）

土屋俊幸（東京農工大学大学院 教授） ※座長

吉田正人（筑波大学大学院 教授）

【関係機関】 林野庁九州森林管理局

鹿児島県

鹿児島県教育委員会

屋久島警察署（欠）

屋久島町

公益財団法人屋久島環境文化財団

屋久島町議会

屋久島町区長連絡協議会

公益社団法人屋久島観光協会

屋久島山岳ガイド連盟

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会

宮之浦岳岳参り伝承会

環境省九州地方環境事務所

【オブザーバー】 屋久島世界遺産科学委員会委員

2. ビジョン検討にあたっての主な論点

(平成28年度屋久島世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討調査等業務報告書より)

検討会での議論および地元有識者ヒアリングを踏まえ、第2回検討会で提出した「ビジョン検討にあたっての主な論点(素案)」を修正した案は以下のとおり。次年度以降は、この案を出発点にビジョン検討を行っていく。

1. 前提となる考え方について

- (1) 伝統的な自然観・人と自然との関わりについて
 - ・屋久島の人々が自然との関わりの中で培ってきた伝統的な自然観をどのように山岳部の適正利用のビジョンに取り入れるか。
- (2) 自然環境を損なわない範囲、方法での利用について
 - ・屋久島山岳部の自然環境の価値、重要性について。
 - ・「保護か開発か」の時代から「自然体験が及ぼすいい効果と自然への負荷のバランス」の時代にシフト。自然環境を損なわない範囲、方法での自然体験利用や観光利用とすることについて。
- (3) 屋久島(山岳部)の価値、魅力、らしさについて
 - ・屋久島(山岳部)の魅力、屋久島らしさとは何か。
 - ・利用者に何を見て欲しいのか、味わって欲しいのか、伝えたい・発信したいのか。
- (4) 次世代への継承について
 - ・次世代への継承をどう位置づけるか。

2. 屋久島山岳部の保護と利用の「目指す姿」又は「あるべき姿」について

3. 利用者へのサービスについて

- (1) 対象者について
 - ・幅広い利用者層への対応について
 - ・増加する外国人利用者への対応について
- (2) 質の高い利用体験の提供について
 - ・利用集中および利用集中により生じる問題への対処について
- (3) 利用施設の整備と維持管理について
 - ・利用者の多寡やルート難易度による登山道等整備の考え方について
 - ・山岳トイレのし尿処理と携帯トイレについて
 - ・登山道浸食、踏圧による裸地化、避難小屋等の老朽化への対応について
 - ・公園計画上の位置づけがないルートの取り扱いについて
- (4) 情報提供について
 - ・利用者に、どこで、何を、どんな方法で伝えるべきか
- (5) 安全について

- ・自己責任と施設等管理者がすべきことについて
- (6) 人材育成について

4. 利用による自然への負荷軽減について

- (1) 利用者が持つべき意識について
- (2) 利用者が負うべき義務について

5. ゾーン設定の考え方について

6. その他

- (1) 地域住民の山岳部および山岳部利用に対する関心・意識について
- (2) 保護地域管理者・施設管理者が持つべき意識と果たすべき責任について

3. 屋久島山岳部の課題の変遷 (平成 28 年度世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討調査等業務報告書より)

	平成 5 年	平成 15 年	平成 25 年	平成 28 年 (現在)	
検討会 協議会		屋久島縄文杉登山のあり方検討会設置 (H3) 屋久島山岳部利用対策協議会設置 (H6)	屋久島地区エコツーリズム推進協議会設置 (H16) エコツーリズム推進法施行 (H20) 屋久島山岳部車両運行対策協議会設置 (H20) 屋久島町エコツーリズム推進協議会発足 (H21) エコツーリズム全体構想案承認 (H22)		
		縄文杉周辺でのマナー指導 (H6 ~) 植生保護デッキ備欄工設置 (H6) 縄文杉先休憩所整備 (H7) 縄文杉手前デッキ設置、整備 (H7、H21、H27、H28)①	マナーガイド、リーフレットの作成・配布 (H11 ~) 植生保護デッキ外踏出防止柵等 (H11) 小杉谷小学校先休憩所整備 (H12) マナーガイドの発行、マナービデオの放映 (H14 ~) 植生保護デッキ補修、木柵、丸太筋工 (H17) 登山道カウンター設置 (H19)	快適登山日カレンダーの提供を開始 (H21 ~) 植生保護デッキ、木柵、木茎保護等 (H21 ~) 植生保護デッキ撤去 (H24)	日本エアコミューターへの、山岳部利用マナー周知依頼 (H25) 縄文杉ルートにおける AED 設置 (H25) 縄文杉デッキ」設置 (H27) 植生保護デッキ撤去、植生保護ネット (H28) 縄文杉デッキ」設置 (H28)
	●	「縄文杉周辺の踏みつけ」			
	●	「縄文杉ルートへの利用集中」			
登山道	国有林、国立公園のバトロール		ウィルソン株周辺階段板張設置 (H12) ウィルソン株周辺階段板張設置 (H16)		
	●	「ウィルソン株周辺の踏みつけ」			
	国有林、国立公園のバトロール		グリーンサポートスタッフによるバトロール開始 (H16 ~) アクティブレンジャー配置による巡視強化 (H17 ~)		
	●	「希少動植物の、盗掘・盗採」			
		縄文杉先休憩所整備 (H7) 縄文杉手前デッキ設置、整備 (H7、H21、H27、H28)① ヤクスギランド内休憩所整備 (H10) ヤクスギランド内休憩所整備 (H11) マナーガイド、リーフレットの作成・配布 (H11 ~) 小杉谷小学校先休憩所整備 (H12) マナーガイドの発行、マナービデオの放映 (H14 ~)		荒川登山口休憩所整備 (H21)	日本エアコミューターへの、山岳部利用マナー周知依頼 (H25) 縄文杉デッキ」設置 (H27) 植生保護デッキ撤去、植生保護ネット (H28) 縄文杉デッキ」設置 (H28)
	●	「すれ違い当による、登山道周辺植生の衰退踏圧による根の露出や、侵食の拡大」			
	●	「休憩場所不足による、周辺植生への影響」			
	●	「利用の集中箇所における休憩場所の不足」			
	●	「体力不足による安易な登山、遭難発生」			
	国有林、国立公園のバトロール	階段、デッキ、標識類、トロ道板張等 (H5) 階段補修、標識類、土留階段 (H7) 階段、木道、橋梁架替、歩道整備 (H8) 木道、階段、標識類、土留階段、橋梁架替、歩道整備 (H9) 階段、板張り、橋梁架替、歩道整備 (H10) 階段、板張、橋梁、トロ道板張等 (H11) 木道、標識類、階段、板張、著名杉命名板、解説板 (H12) 板張、橋梁設置、木道、丸太工、階段工 (H13) 枕木交換、木道、階段、橋梁架替、歩道整備、土留丸太、丸太工、階段工、龍神杉歩道整備 (H14) 枕木交換、トロ道板張、木道、階段、石積、解説板、龍神杉歩道整備 (H15)	木道、階段、石積、龍神杉歩道整備 (H16) グリーンサポートスタッフによるバトロール開始 (H16 ~) 橋梁架替 (H17) 橋梁架替、土留、排水溝等整備 (H18) 木道、階段、石積、水切等、龍神杉歩道整備 (H19) 橋梁架替 (H20) 橋梁架替 (H21) 木道、石積階段、橋梁 (H21)		
●	「標識の老朽化、同一機能の標識撤去、統一化」				
●	「土砂流出、浸食による登山道荒廃、周辺植生への影響」				
●	「土留め柵の破壊による排水機能不全」				
●	「木道・石積み歩道の老朽化」				

図 2-73 登山道の課題の変遷

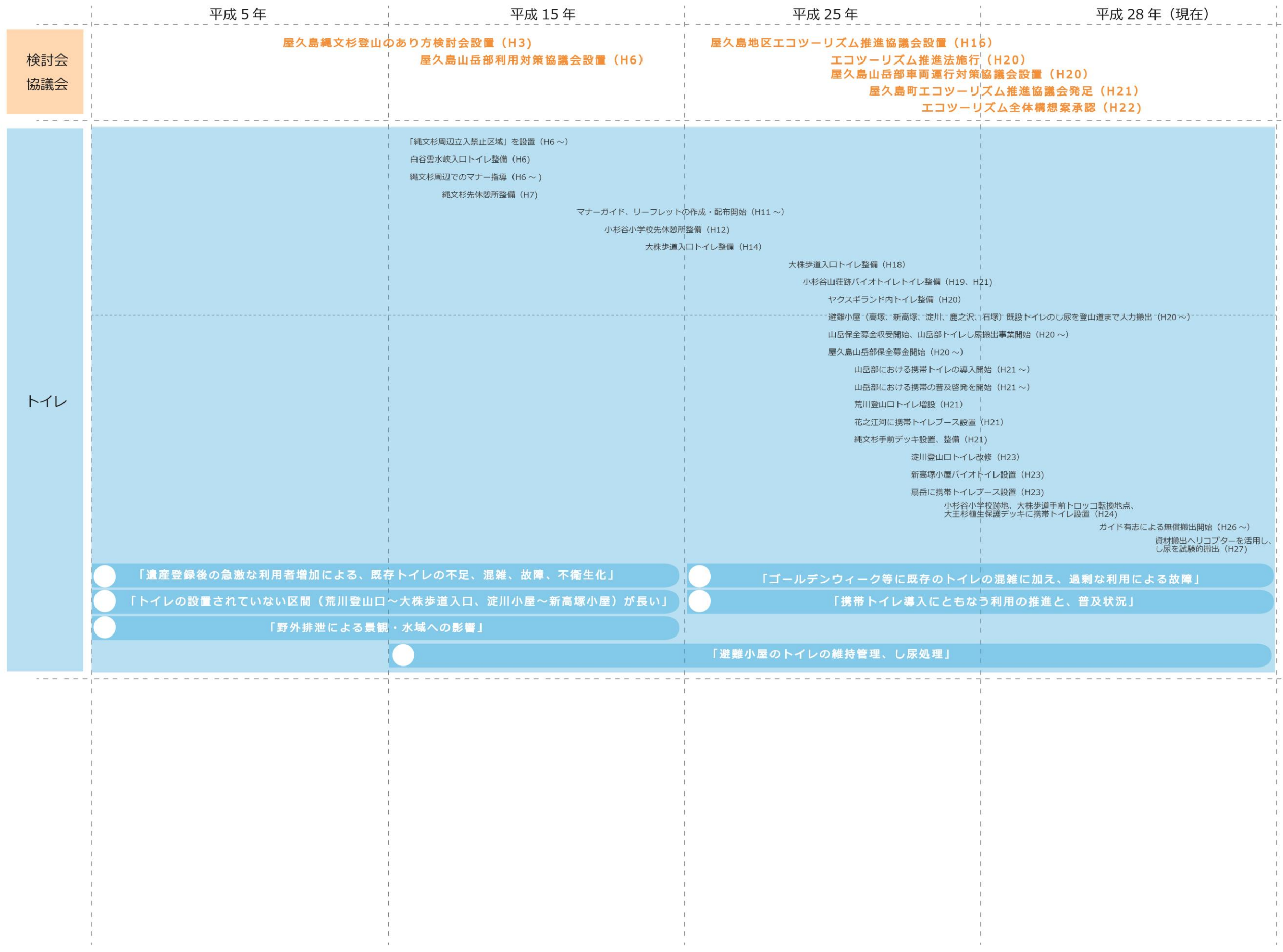


図 2-74 トイレの課題の変遷

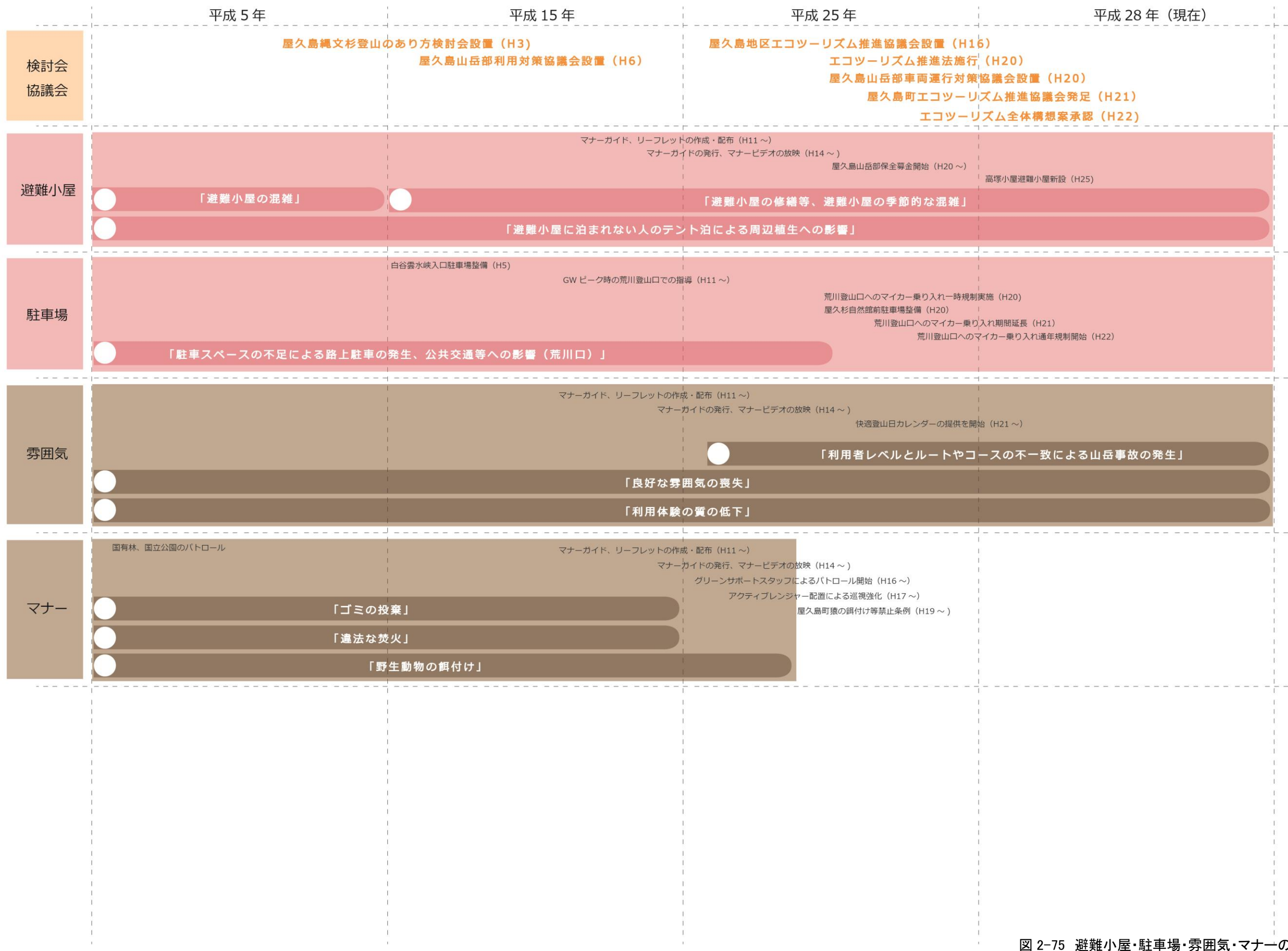


図 2-75 避難小屋・駐車場・雰囲気・マナーの課題の変遷

4. 成果物骨子イメージ

(平成28年度世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討調査等業務報告書より)

世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会において作成を目指す「世界自然遺産・国立公園における山岳部の適正利用のビジョン（仮称）」の現時点での骨子イメージ、および、今年度検討会で議論された事項に関する記述概要を以下に示す。成果物の名称、骨子および記載内容は、次年度以降の議論により修正していくこととなる。

【世界自然遺産・国立公園における山岳部の適正利用のビジョン（仮称）の骨子イメージ】

1. 作成目的
2. 背景
 - (1) 屋久島（山岳部）の特徴と価値
 - (2) 屋久島の歴史と社会の変遷
 - (3) 屋久島山岳部の保護と利用の状況
 - (4) 屋久島山岳部の保護と適正利用に関する取り組み経緯
 - (5) 屋久島山岳部の保護と適正利用の課題
 - (6) その他
3. 対象区域
4. 基本理念と基本方針
 - ※理念、目指す姿（目標）と目標実現のための方針
5. 適正利用のためのゾーニング
6. ゾーニングごとの（管理）目標・方針
7. 施設の整備と維持管理
 - (1) 施設の整備
 - ※整備の方針や内容、施設整備水準の設定
 - (2) 施設の維持管理
 - ※維持管理の方針・方策
8. 利用者管理とサービスの提供
 - (1) 利用者管理
 - ※例：利用コントロール、ルールなど
 - (2) サービスの提供
 - ※例：情報提供方策など
9. その他
 - ※モニタリング項目

5. 平成29年度の取り組み

「屋久島世界自然遺産・国立公園の山岳部における利用のあり方検討会」を4回開催予定。前述の“ビジョン検討にあたっての主な論点”について議論しながら屋久島山岳部の適正利用ビジョンおよびルートごとのランク分け等を検討予定。

【第1回】7月17日（月）午後 検討会

【第2回】8月18・19日（金土）現地踏査（花山歩道>鹿之沢小屋>淀川）

8月20日（日）午前 検討会

【第3回】11月4日（土）現地踏査（荒川登山口～縄文杉・高塚小屋往復）

11月5日（日）現地踏査（繁忙日の白谷雲水峡）

11月6日（月）午前 検討会

【第4回】1月29日（月）午前 検討会